

生徒指導だより

第1号(新入生版)

令和7年4月9日発行
市川市立大洲中学校
生 活 指 導 担 当

新年度スタート!!

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

先生方も、残念ながら当日に参加できない在校生も、みなさんの入学を心待ちにしていました。

今日からみなさんは中学生になります。入学式の日を迎え、たくさんの期待と少しの不安の人もいれば、期待もあるけど不安の方が大きいという人もいるかもしれません。実際、小学校と中学校では様々な面で違いがあります。おそらく最初はその違いに戸惑うことがあるかもしれません、そんな時は2年生や3年生の姿を見てください。4月7日の始業式の日には、上級生には、日常生活においては上級生として「正しさ」を、行事においては「上級生のすごさ」を見せてほしいと伝えてあります。また、もし学校生活の中でわからないことがあれば、先生に確認をしましょう。不安な気持ちが大きい人も、そうやって少しずつ中学校のサイクルに慣れていくください。

ただ、みなさんはつい最近まで最上級生として下級生を引っ張ってきたはずです。中学生になり、いちばん下の学年になったからといって、急に小さくなってしまう必要はありません。前向きな気持ちを持って、自分が活躍できる場所を探し、積極的にものごとにチャレンジしていってください。そうすれば、中学校生活がどんどん楽しくなっていくはずです。

保護者の皆様へ。

本日はお子様のご入学おめでとうございます。

上にきょうだいがいるご家庭は大洲中の様子はご存知かと思いますが、お子様が初めて中学生となるご家庭については、人間関係のこと、勉強のことなど、不安な面の方が先に立つことと思います。学校でも保護者会や三者面談などで学校での様子をお伝えさせていただきますが、もし何かございましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。学年職員、授業担当者、部活動顧問など、お子様に関わる職員全ての力でより良い学校生活のサポートをしていきます。

環境が変わって

いよいよ中学校生活のスタートです。

1年生には人数の多少はありますが、5校以上の小学校の出身者がいます。そうすると、同じことをやる時でも、「普通(あたりまえ)」だと思っていることが違う場合があります(この3月に卒業した生徒たちに聞いたのですが、宮田小と大洲小では、卒業証書を受け取る手順が違いました)。そのため、最初はその違いが原因で居心地が良くないと感じる人がいるかもしれません。でもその時は、自分を伸ばすチャンスもあります。相手との違いを感じた時、自分のやり方を大切にしながら、相手のやり方を理解して尊重するようにしてみる。そうすれば、自分のできることが増やせるし、クラスのチーム力もあげることができます。ただ、そうは言っても・・という時があるかもしれません。そんな時は、担任の先生、学年の先生、カウンセラーの先生など周りにいる大人に相談してみてください。直接話をするのはちょっと・・という人は、やりとり帳を活用するのも良いですね。何事も自分で解決しようとする人がいます。素晴らしいことだとは思うのですが、みなさんの学校での心配事の多くは、大人と一緒に考えた方が早く解決できる場合が多いです。何か壁を感じたら、ぜひ自分の気持ちを周りの大人に発信してみてください。